

# LifeKeeper for Linux v8.3.1

## テクニカルアップデートインフォメーション

---



## 目次

1.	はじめに .....	3
2.	<b>LifeKeeper for Linux v8.3.1 の新機能・機能変更</b> .....	3
3.	<b>重要な製品の問題の修正</b> .....	5
4.	お問い合わせ .....	6
5.	免責事項 .....	6
6.	著作権 .....	6

## 1. はじめに

本文書では LifeKeeper for Linux v8.3.1 (SIOS Protection Suite for Linux v8.3.1/SPS v8.3.1) での新機能や機能変更、また、重要なバグ修正に関する概要をまとめたものです。それらに関する詳細な情報につきましては、リリースノートやオンラインマニュアルをご確認いただくか、ご契約の製品サポートにお問い合わせください。

## 2. LifeKeeper for Linux v8.3.1 の新機能・機能変更

追加されたサポート OS や仮想環境はありません。また新機能等もありません。機能変更につきましては、以下の変更が行われています。

- LifeKeeperGUI の使用時にサポートされる Java に「Java SE Runtime Environment 7 u67 (64bit)」が追加されました。

LifeKeeper インストール時に導入される JRE のバージョンが、JRE 7 update 67 (64bit)に変更となりました。それに伴い、WebUI を使用する際のクライアント環境の Java についても同バージョンがサポートされます。また同時に JRE 6 系はサポート対象から除外されます。

さらに、この変更に関連して本バージョンの SSP をインストールする環境に 32bit 版の JRE 7 update 67 が既にインストールしていた場合の留意点があります。

LifeKeeper のインストーラー(setup スクリプト)は JRE 7 update 67 64-bit をインストールします。既に JRE 7 update 67 32-bit がインストール済みの環境である場合に、下記のようなエラーが表示され、インストール済みの JRE 7 update 67 32-bit のパッケージに対して、JRE 7 update 67 64-bit のパッケージが上書きインストールされる場合があります。

[エラー出力例]

=====

Unpacking JAR files...

rt.jar...

Error: Could not open input file: /usr/java/jre1.7.0\_67/lib/rt.pack

jsse.jar...

Error: Could not open input file: /usr/java/jre1.7.0\_67/lib/jsse.pack

charsets.jar...

Error: Could not open input file: /usr/java/jre1.7.0\_67/lib/charsets.pack

localedata.jar...

Error: Could not open input file:  
/usr/java/jre1.7.0\_67/lib/ext/localedata.pack

jfxrt.jar...

Error: Could not open input file: /usr/java/jre1.7.0\_67/lib/jfxrt.pack

Installation was successful.

Press ENTER to continue...

=====

対応策:

LifeKeeper をインストールする前に JRE 7 update 67 32-bit をアンインストールしていただくか、JRE 7 update 67 32-bit のインストールパスを /usr/java/jre1.7.0\_67 以外に変更してください。

- コミュニケーションパスの切断検知に関するログ出力がより詳細になりました。  
コミュニケーションパスは、デフォルトでは 5 秒に 1 度ハートビート通信を行い、3 回連続無応答だった場合にコミュニケーションパスが切れたと判断します。これまで切断に関するログの記録は、このときはじめて記録されるようになっていました。

本バージョンでは、ハートビート通信に無応答だった場合にもログが記録されるようになりました。これによって、コミュニケーションパスの通信状況を、ログを通してより細やかに観察することが可能となりました。

### 3. 重要な製品の問題の修正

SPS v8.3.1 で修正された問題（バグ）の中で重要と思われる修正についてピックアップします。その他 v8.3.1 で修正された問題の一覧につきましては、v8.3.1 のリリースノートをご確認ください。

- LCM によるノード間通信が、起動後から一定時間経過すると通信が不安定になる問題を修正しました。  
これは、以下の URL で公開されている事象に対する解決策となります。また、発生する問題の詳細や発生原因は以下の URL に解説されています。

[Linux]DataKeeper for Linux 利用時に quickCheck プロセスが滞留する事象について

<http://lk.sios.com/?p=2582>

こちらの内容をご確認いただき、お客様の状況に応じて v8.3.1 へのアップグレードをご検討いただきますようお願いいたします。

#### 4. お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。なお、お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切なお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

#### 5. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証もするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

#### 6. 著作権

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。